

令和 7 年度 学校総合体育大会 卓球の部 大会要項

主催 埼玉県教育委員会 さいたま市教育委員会 埼玉県学校体育協会
後援 (財)埼玉県体育協会 所沢市教育委員会 熊谷市教育委員会
一般社団法人埼玉県卓球協会
主管 埼玉県中学校体育連盟卓球専門部

1 期 日 令和 7 年 7 月 22 日 (火) 男子団体戦 [決勝まで]
7 月 23 日 (水) 女子団体戦 [決勝まで]
7 月 28 日 (月) 男女シングルス・ダブルス [決勝まで]

2 会 場 7 月 22 日 (火)・23 日 (水) 所沢市民体育館
〒359-0042 埼玉県所沢市並木 5 丁目 3 番地
7 月 28 日 (月) 熊谷スポーツ文化公園彩の国くまがやドーム
〒 360-0004 熊谷市大字上川上 300

3 日 程 [受付] 8:50~9:20 [開会式] 9:30~

- ・午前 8 時 30 分までは入館できない。
 - ・午前 8 時 30 分以前の開館の問い合わせや開館要求をしない。
 - ・体育館への電話連絡をしない。
 - ・入館は、所沢市民体育館は 2 階から行う。
彩の国くまがやドームは 1 階から行う。
- (※すべての参加校、選手の受付が終わり次第、開会式を早めて行う場合がある。)
- ・天候等(危険な暑さや台風、落雷等)の事情により、代表決定まで競技を進行できなかった場合は、専門部で対応を協議して決定する。

4 種 目 団体戦 [4 単 1 複] (男子団体・女子団体)
個人戦 (男女シングルス・男女ダブルス)

5 参加数 [団体・シングルス・ダブルス] →各地区代表の規定数

6 使用球 公認試合球 (スリースター・ホワイト・プラスチック製)

7 県大会当日の持ち物 名札入れ (登録された大人分)

8 競技上の注意

- (1) 競技ルールは現行の日本卓球ルールに準じて行う。
- ・サービスは、ボールを 16cm 以上、投げ上げることを徹底する。
 - ・タオルで汗を拭く場合は、原則、両者の得点の合計が 6 の倍数のときとする。

- (2) ゼッケンを必ず背中につける。(右記参照)
[日本卓球協会のもので可とする。]

- (3) ユニホーム上下は、公認マークが入ったものを着用する。団体戦では色のデザインがそろったものを全員が着用する。個人戦のダブルスは、ペアでユニホームのデザインをそろえたものを着用する。着用していない場合は、試合に出場することができない。

- (4) 団体戦の登録人数を 6 名以上 10 名以内とする。未登録の選手を試合に起用した場合は失格となる。また、登録した選手名でその名前と違う選手が出場した場合も失格となる。

← 約 26 cm →



↑
約 18 cm
↓

- (5) ベンチに入れるのは各校 10 名以内の生徒と顧問監督、外部指導者[アドバイザー]、部活動指導員のうち 2 名までとする。外部指導者[アドバイザー]は、日頃から当該校の指導し校長が認めた者に限る。部活動指導員は、年度当初に県教委に任命されている者に限る。なお、外部指導者[アドバイザー]または部活動指導員はそれぞれ 1 名ずつ申請することができる。個人戦でベンチに入れるのは 1 名とする。

外部指導者[アドバイザー]または部活動指導員の申請については、所定の大会参加申込書に記入し県大会代表者会で提出する。申込書に記入されていない場合には一切認められない。大会時にはアドバイザー証を身につけてベンチに入ることとする。また、顧問監督または外部指導者[アドバイザー]の変更については、所定の変更届に記入し、大会受付時に、本部に必ず提出する。なお、試合開始後の変更は原則認められない。

- (6) 団体戦においては監督、個人戦においては監督および選手が抗議権を持つ。
- (7) ゲーム間のアドバイスは、1 分以内で認める。ただし、試合中のタイムアウトは、現在のところ認めていない。(※県大会代表者会で確認する)
- (8) ベンチや観客席から相手選手に不快感を与えるような言動や、動揺を与えかねない指示等は厳に慎む。顧問は生徒にマナーを守るように十分指導しておく。また、観客席から試合中の選手へのアドバイス等やそれに疑われる言動をしてはいけない。
- (9) ラケット交換は、お互いにラケットを見せ合うのみとする。
- (10) 団体戦のオーダー交換は、試合前に各コートで速やかに行う。
- (11) 団体戦のあいさつは、原則として顧問監督も整列する。
- (12) 団体戦の選手のベンチは、若い番号のチームが本部に向かって左側とする。
- (13) 審判は、団体戦、個人戦ともに原則として敗者審判とする。審判は、公正に毅然とした態度で判定にあたる。また、審判はジェスチャーをはっきりと示す。
《ポイント》 得点側の片手をグーにして肩へ上げる。《レット》 片手をパーにして頭上へ上げる。
審判が判断しかねるトラブルが生じたときは、試合を一旦中断し、審判長(本部)に即座に報告し、助言を受けること。
- (14) 試合結果については、団体戦の場合は「勝ったチームのキャプテン」が速やかに本部へ記録(オーダー)用紙を持って報告する。また、個人戦の場合は、「勝った選手本人」が速やかに本部へ報告する。
- (15) 促進ルールについては、試合開始 10 分経過後、対戦両者のポイントの合計が 18 点に満たない場合に適用される。促進ルールが適用される可能性のある試合では、あらかじめ両チームで計時をしておく。適用条件になった場合には、試合を一旦中断し、審判長(本部)に即座に連絡する。本部からストロークカウンターを配置する。
- (16) ベンチに入る顧問監督、外部指導者 [アドバイザー]、部活動指導員も、白を基調とした服装は控える。
- (17) 団体戦は、若い番号のコートから順番に、試合に入る。

9 会場への交通手段について

- ①公共交通機関を利用するものとする。
- ②保護者も公共交通機関を利用する。(所沢市民体育館の駐車場は利用できない。)
- ③貸切バスの利用は、県代表者会で申請をした学校のみできる。
※ 所沢市民体育館は、乗り降りのみ認める。所沢市民体育館に駐車はできない。
※ 彩の国くまがやドームには、駐車することができる。

10 会場使用上の注意

(1) 来場について

- ①館内は、すべて上履きを使用することになっている。また、下足は各自が用意した袋に入れて、観客席に持っていく。
- ②電車やバスなどの公共交通機関を利用する際は、一般の方々の迷惑にならないようにする。徒歩や自転車での移動でも、一般の方々の迷惑にならないように移動する。

- ③参加生徒には、行き帰りの道中の態度、身だしなみ、館内での過ごし方等におけるルールやマナーを守るように、事前に引率顧問は十分に指導しておく。

(2) 入場(入館)について

- ①開館時刻は **8 時 30 分** の予定となっている。整列入場を行う。
- ②荷物は座席の下に置き、通路には荷物を置かないこととする。
- ③館内には多くの来場者がいる。参加生徒は、館内で走り回ったり、壁打ちをしたりするなど、来場者や周囲の人たちへの迷惑行為とならないように注意する。
- ④トイレはきれいに正しく使用する。
- ⑤体育館内の施設は、すべてのものを丁寧に扱い、必要のないものには手を触れないようにする。また、指定された以外の施設内への立ち入りは決してしないこと。万が一、施設の物を破損した場合は、すぐに本部まで申し出ること。
- ⑥帰るときは、座席付近にゴミが落ちていないか、忘れ物がいないか確認する。

(3) 競技会場について

- ①卓球台 45 台を使用する。
- ②水分補給をする際には、水滴を含めフロアにこぼさないように注意する。

(4) 競技について

カットマンにおける卓球台の移動については行わない。

(5) 会場内の移動について

通路や廊下、ロビーに立ち止まっていることのないようにする。

(6) その他

- ①通路、廊下、ロビーなどを荷物置き場やベンチとして使用しない。
- ②ガム、アメ、菓子類、缶ジュース類の飲食、またゲーム機器や音楽機器、スマートフォンや携帯電話等の使用は禁止とする。
- ③盗難、ケガ、器物破損、事故が発生した場合は、直ちに本部に連絡する。
- ④引率教師(顧問)が選手の貴重品を管理する。
- ⑤落とし物や忘れ物等がないように、各自(各チーム)で管理を徹底する。大会中の忘れ物等は、令和 7 年 8 月 6 日まで(所沢市立小手指中学校または深谷市立南中学校)で保管する。

11 試合進行

(1) 団体戦

- ①アナウンスで台に入る。(タイムテーブルにそって、進行する)
- ②トスの後、お互いにラケットを見せて 3 本練習し、試合を始める。
団体戦の勝敗は順番関係なく、3 本決まった時点で勝敗を決定する。
- ③試合終了後あいさつを行い、勝ったチームはオーダー用紙を持って本部に報告する。
試合に負けたチームは、タイムテーブルにしたがって審判を行う。

(2) 個人戦

- ①アナウンスで台に入る。
- ②ジャンケンの後、お互いにラケットを見せて 3 本練習し、試合を始める。
- ③試合終了後、あいさつを行い、勝った選手は本部に報告する。試合に負けた選手は試合をしたコートで審判を行う。

(3) その他

- ①試合を待っている人は、アリーナ出入口や競技エリアで待機しないようにする。
- ②審判は、シングルの試合は 1 人、ダブルスの試合は 2 人で行うものとする。
- ③練習について(競技開始前の全体練習は行わない。)
団体戦：各試合のオーダー交換のあと 1 分間、各学校、試合をするコート 2 台を使用して、自分の学校の選手と練習を行う。1 分間の計時は審判が行う。
個人戦：各試合、対戦相手と試合をするコートで 1 分間練習を行う。1 分間の計時は審判が行う。

《参考資料》

【県中体連(関東・全国も同様)における外部指導者[アドバイザー]の規定】

- 外部指導者の資格として、
- 1 当該校長が認めた成人(20歳以上)であること。
 - 2 日頃から継続して、その学校の部活の指導にあたっている者。
 - 3 複数の学校及び、複数種目の外部指導者としてベンチ入りはできない。
 - 4 「教職員等」(中学校を除く)は、日頃から指導し校長が許可した者であれば、外部指導者として登録できる。
 - 5 外部指導者のみで生徒の引率は、特定の場合を除き、できない。

※上記については、今大会に限ったものではない。

※ 代表者会議では、団体の抽選のみ行う。抽選が終了したらお知らせをするので、抽選が終わるまでは帰らない。個人戦のみのチームについては、帰ってもよい。

令和6年度学校総合体育大会のカップ等の返還があります。

下記の学校は、大会当日に必ずご持参いただき、本部に渡してください。

【男子団体】

優勝校	狭山市立中央中学校	(優勝旗・優勝杯)
準優勝校	新座市立第二中学校	(準優勝杯)

【女子団体】

優勝校	越谷市立富士中学校	(優勝旗・優勝杯)
準優勝校	川口市立南中学校	(準優勝杯)

【男子個人】

シングルス優勝	さいたま市立日進中学校	(優勝杯)
ダブルス優勝	春日部市立東中学校	(優勝杯)

【女子個人】

シングルス優勝	シュエット	(優勝杯)
ダブルス優勝	川口市立南中学校	(優勝杯)